

未利用資源である大島石粉を用いた「しまなみガラス」の開発

- － 未利用資源である大島石粉を用いた「しまなみガラス」の開発（R7）－
愛媛県産業技術研究所 窯業技術センター 研究員 神谷 明里
株式会社隣花庵 杉村 環 Glass Studio Uka 梶川 泰臣

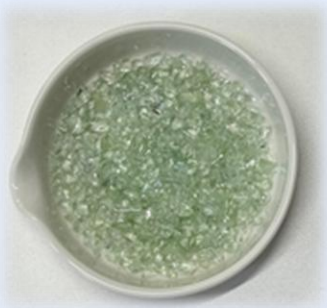
今治市の大島から採掘される大島石は、墓石材等の加工時に石粉が大量に発生しており、そのまま廃棄物として処理されています。

そこで、本研究では、未利用資源である大島石粉の有効活用を目的として、新たなガラス材「しまなみガラス」の開発を行いました。

1. 配合条件の検討

ガラス原料に**大島石粉**を混合し、熔融、固化させてガラス材を作製しました。

配合A



配合B



配合C



2. 試作品の作製・評価

吹きガラスの技法により、試作品を作製しました。



- 未利用資源である大島石粉を用いた新たなガラス材「しまなみガラス」を開発することができました。
- 開発した「しまなみガラス」は、緑～青色に呈色し、吹きガラスとの適合性も良いことが分かりました。